

令和8年度入学試験問題（前期日程）

## 小論文

教育学部 学校教育教員養成課程

小学校教育コース・中学校教育コース

教科教育専攻

社会科教育専修

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。
6. 解答する際の字体は楷書とし、ていねいに書くこと。

## 問 題

資料 1, 資料 2 を読み, 以下の各問に答えなさい。

問 1 資料 1 を読み, スウェーデンと日本の子育てに対する考え方は, どのように違っているのか述べなさい。(400 字程度)

問 2 資料 2 を読み, 日本の「失業をなくす」という就業率の向上(≒仕事に就かせる)を目指す政策(7 ページ, 下線部②)のシナリオとは, どのようなものか説明しなさい。(600 字程度)

問 3 資料 2 においては, 日本では「子育て罰の除去に伴う貧困削減の効果が大きい」(9 ページ, 下線部③)と述べられています。これはどういうことか具体的に説明しなさい。そのうえで「子育て罰を行っているのは, 多くは政治であり, それにとどまらず社会全体であり, そこには人びとの価値観も含まれます」(6 ページ, 下線部①)に対するあなたの見解を, 資料 1 もふまえて論述しなさい。(800 字程度)

【資料 1】

非公開

非公開

非公開

# 非公開

(メアリー・C・ブリントン 池村千秋 (訳) (2022). 「縛られる日本人——人口減少をもたらす『規範』を打ち破れるか」中央公論新社, 24～41 ページ, 抜粋・一部改変)

【資料 2】

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

# 非公開

(末富芳・桜井啓太 (2021). 「子育て罰——『親子に冷たい日本』を変えるには」光文社, 62～88 ページ, 抜粋・一部改変)

令和8年度入学試験問題（前期日程）

## 小論文

教育学部 学校教育教員養成課程

小学校教育コース・中学校教育コース

教科教育専攻

社会科教育専修

### 出題の意図

この小論文は、琉球大学のアドミッション・ポリシーに基づき、教育学部・学校教育教員養成が求める、将来教員として教育に従事するために必要な教育の理念と実践とを広く、深く学ぶ、意識と資質について評価するものである。すなわち、資料（社会科学的内容）に対して、その内容を正確に読解し、そこから得られた認識を基に、設問の趣旨を踏まえて合理的に考察し、それを的確に論述する構想力と表現について、問うものである。